

授業紹介—地域健康サポーター実習の報告会—

科目責任者：岡田麻里（在宅看護学）

地域健康サポーター実習とは、地域住民の健康生活の支援のために、さまざまな地域活動に学生が主体的に参画し、看護職として、成熟した人間として、社会的スキルや視野の拡大につなげることを目的とした、新たなカリキュラムとして位置付けられた実習です。4月7日に第1回目の報告会が行われました。2021年度1年間の取り組みを、新3年生が19の活動に分かれて、2年生、1年生を対象に紹介しました。3年生の報告会を聞いた2年生の学びや感想は「主体性の大切さ」「自分の将来につながる取り組みをしたい」「コミュニケーションや思いやりの気持ちの大切さ」「ルールや企画を創り上げていく楽しさや難しさ」「自分たちにもできるのか不安」等でした。今年度から2・3年生で活動に参画し、地域で暮らす様々な人々から得た学びを、看護に活かしていくことを目指します。

【3年生の報告の様子】



M町の親子にK未来会館を知ってもらうために
「親子で一緒に踊ろう!!」ダンス企画)



震災に対する意識を高めるために
親子防災教室「劇を通して防災について学ぶ」

【午後からの2・3年生の交流会の様子】



外国人留学生のための健康教育に挑戦!!
言語や文化の違いを考慮し分かりやすい日本語で



←KBS でこの取り組みが紹介されました
是非ご覧ください



地元の漁師さんに教えていただきながら地引網体験
子どもから大人まで、障がいの有無にかかわらず
楽しめるように、取り組みました